

茨城県つくば市 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2021年~2023年

(1) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2021年	2022年	2023年	2030年(目標値)	達成度 (%)
1	2015年度以降の産業競争力強化法に基づく新規創業者数 [8.2, 9.5]	2020年 3月 420 社	2022年 6月 631 社	2023年 3月 751 社		2030年 1,111 社	47.9%
2	学力格差の解消に向けたこどもの学習支援者数 [1.2, 1.3, 2.1]	2020年 4月 236 人	2022年 3月 332 人	2023年 3月 341 人		2030年 600 人	28.8%
3	自己肯定感を持つ児童生徒の割合 [4.1]	2021年 75.5 %	2021年 75.5 %	2022年 79.4 %		2030年 80.0 %	86.7%
4	地域や社会に目を向ける児童生徒の割合 [4.1]	2021年 50.7 %	2021年 50.7 %	2022年 48.6 %		2030年 55.0 %	-48.8%
5	地域包括支援センター設置数 [10.2]	2020年 10月 7 か所	2022年 3月 7 か所	2023年 3月 7 か所		2030年 8 か所	0.0%
6	市全体人口に対する居住誘導区域内の人口割合 [11.1, 11.2, 11.a]	2015年 53.3 %	2015年 53.3 %	2020年 55.7 %		2035年 58.0 %	51.1%
7	「低炭素社会の推進」に係る市の取組への満足度 [7.2, 7.3, 12.5, 12.8, 13.1, 13.2]	2020年 3月 19.6 %	2022年 3月 18.4 %	2023年 3月 19.1 %		2030年 30.0 %	-4.8%

(2) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況(2021年~2023年)

No	取組名	指標名	当初値	2021年 実績	2022年 実績	2023年 実績	2023年 目標値	達成度 (%)
1	① 市民自らが社会課題解決に向けた取組を実施する	つくばSDGsパートナーズ会員が、SDGsに関する社会課題の取組に参加している割合	2019年12月 38.1 %	2021年12月 58.6 %	2022年12月 70.1 %		2024年 43.9 %	551.7%
2	② つくば市におけるSDGs(持続可能な開発目標)に関する認知度向上	SDGsに関する認知度	2019年12月 34.9 %	2021年 72.8 %	2021年 72.8 %		2023年 45.0 %	375.2%
3	③ I 魅力をもみんで創るまち	パブリックスペース活用の取組数	2020年 3 取組	2022年3月 11 取組	2023年3月 21 取組		2023年 27 取組	75.0%
4		周辺市街地における地域民間企業・NPO等の新たな協働件数	2020年8月 5 件	2022年3月 6 件	2023年3月 24 件		2024年 16 件	172.7%
5		地産地消レストラン・販売店数	2019年 45 店舗	2022年3月 153 店舗	2023年3月 157 店舗		2024年 150 店舗	106.7%
6	③ II 誰もが自分らしく生きるまち	公共交通満足度	2019年 36.1 %	2021年12月 43.3 %	2022年8月 42.5 %		2023年 37.0 %	711.1%
7		バス停留域(500m)カバー人口の割合	2020年 83.4 %	2021年10月 79.5 %	2022年10月 78.8 %		2023年 84.0 %	-766.7%
8		地域包括支援センターへの延べ相談件数(年間)	2020年3月 8,823 件	2022年3月 12,660 件	2023年3月 9,316 件		2023年 11,400 件	19.1%
9	③ III 未来をつくる人が育つまち	子どもの学習支援等における空き教室の活用数	2020年3月 3 か所	2022年3月 5 か所	2023年3月 5 か所		2023年 5 か所	100.0%
10		つくばスタイル科(ESDを含む)の実施学園数	2020年 16 学園	2021年 16 学園	2022年 16 学園		2023年 16 学園	100.0%
11		つくばSTEAMコンパス事業の延べ参加者数(年間)	2020年3月 495 人	2022年3月 246 人	2023年3月 346 人		2023年 200 人	50.5%
12	③ IV 市民のために科学技術をいかすまち	技術系の新規創業者数(期間累計)	2020年8月 1 件	2022年8月 23 件	2023年8月 30 件		2020年~2024年 50 件	59.2%
13		Society5.0社会実装トライアル支援事業採択件数	2020年12月 20 件	2021年9月 26 件	2022年8月 31 件		2024年3月 35 件	73.3%
14		国際戦略総合特区推進事業連携企業数	2020年3月 616 件	2022年6月 879 件	2023年6月 1,146 件		2024年3月 1,181 件	93.8%
15		利用しやすいオープンデータ件数	2020年9月 123 件	2022年3月 160 件	2023年3月 161 件		2024年 150 件	140.7%
16		つくば市低炭素(建物・街区)ガイドラインの認定住宅数	2019年 67 戸	2022年3月 261 戸	2023年3月 372 戸		2024年 342 戸	110.9%

(3)SDGs未来都市計画推進のKPI達成に係る評価及び課題等

(1) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組

全体的に予定通り順調に進捗しているが、一部の指標で遅れがみられる。

指標4「地域や社会への関心を持つ児童生徒の割合」の進捗に遅れがみられる。新型コロナウイルス感染症の影響で地域での体験活動が減少し、児童生徒と地域社会とのつながりが希薄になったためであったと考えられる。今後は感染状況が落ち着き、地域での体験活動を積極的に実施することによって指標の達成度は改善すると見込まれる。

指標7「低炭素社会の推進に関する市民の満足度」も進捗に遅れがみられる。新型コロナウイルス感染症の影響で効果的な広報・啓発活動が制限され、情報発信が不足したことが原因であったと考えられる。そのため、本指標に関連する動画の作成や環境教育プログラムの構築によって、広報・啓発活動の改善を図る。

(2) 自治体SDGsの推進に資する取組

16指標のうち8指標で既に目標値を達成し、その他の指標も予定どおり順調に進捗している。

しかし、**指標7「バス停圏域(500m)カバー人口の割合」**の進捗に遅れがみられる。これは、既存バス停の500m圏域外において新規の宅地造成が進んでおり、圏域内の人口増加を上回るペースで圏域外の人口が増加しているため、相対的に圏域内人口の割合が低下していることが原因だと考えられる。また、高齢化率の高い地域を対象とする支線型バス実証実験事業を2021年度末に終了したため、停留所数が前年比で約100基減少したこともカバー人口の割合低下に影響している。今後も引き続き、地域の人口推計を踏まえながら適切な公共交通サービスを提供していく。